

正誤表 学部・研究科等の現況調査表 (教育)

京都大学法学研究科

| | 頁数・行数等 | 誤 | 正 |
|---|--|---|---|
| 1 | 6-11 頁・ 資料 1 - 2 - 1 ・ 21 行、23 行 | <p>第二 博士後期課程〔教育目標〕 博士後期課程は、法学政治学の分野について、みずからの研究計画に基づいて博士論文を完成させるとともに、原理的問題と現代社会への関心を兼ね備えた国際的発信力ある人材となるための高度の研究能力を涵養することを主な目的とする。〔教育課程編成・実施の方針〕 1. 本学の多様かつ高度な学術的研究を背景とした基盤的、先端的な専門知識を修得させ、国際的に活躍できる自立した研究者を養成するとともに、各専門分野において職業的に必要とされる高度に専門的な知識と技術、並びにそれらを統合する能力を備えた、指導的な高度専門職業人を養成するよう、教育課程を編成し実施する。</p> | <p>第二 博士後期課程〔教育目標〕 博士後期課程は、法学政治学の分野について、みずからの研究計画に基づいて博士論文を完成させるとともに、原理的問題と現代社会への関心を兼ね備えた国際的発信力ある人材となるための高度の研究能力を涵養することを主な目的とする。〔教育課程編成・実施の方針〕 1. 本学の多様かつ高度な学術的研究を背景とした基盤的、先端的な専門知識を修得させ、国際的に活躍できる自立した研究者を養成するとともに、各専門分野において職業的に必要とされる高度に専門的な知識と技術、並びにそれらを統合する能力を備えた、指導的な高度専門職業人を養成するよう、教育課程を編成し実施する。</p> <p>※①21 行：「博士後期課程」及び「〔教育目標〕」の後ろで改行。②23 行：「とする。」及び「〔教育課程編成・実施の方針〕」の後ろで改行</p> |